

白子神社だより

令和六年 秋 第十四号

宮司 宮田 修

白子神社社務所発行

電話 0475 33 3124

ご本殿修復奉賛会 発足

前の号でお知らせした通り白子神社のご本殿を修復することが5月に開かれた責任役員会議で正式に決定されたことを受け、この度、ご本殿を修復するための資金を調達するための「**白子神社ご本殿令和の大修復奉賛会**」が発足しました。

奉賛会は、宮司、責任役員、氏子総代会の他一般の氏子さんにも加わってもらい一〇数人規模の奉賛会事務局を作り、活動を進めることになりました。

事務局の発足に先駆けて今年7月に千葉県教育庁の文化財課に来年度から補助金を交付していただけるよう申請を済ませています。また白子町にも協力を仰いでいます。

ご存知のように白子神社の本殿は千葉県の有形文化財の指定を受けていますので文化財保護のため県や町が協力してくれます。

有難いことだと思っています。

もちろん補助金だけで巨額の

修復費用を賄うことはできませんので神社が中心になって資金を調達しなければなりません。

このほど発足した奉賛会の事務局が中心になって活動していくことになります。

氏子の皆さんの負担をなるべく少なくしようと宮司は考えていますが皆さんご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

修復工事は、本殿の調査をお願いした成田市の岩瀬建築有限会社引き続きお願いすることになりました。工事は、来年、令和7年度から始まり3か年で終える計画です。

ご本殿建物自体の修復、ほとんど剥脱してしまった塗装をなるべく創建当時に戻す。また地震などで倒壊しないよう耐震のための工事を行うことにしています。

工事費の見積もり額は、6200万円です。

神社の自己資金、一般の皆さんか

らの奉賛金、有志や氏子の皆さんからの奉賛金、さらには全国の皆さんにご協力を呼び掛けるクラウドファンディングも取り入れることにしています。

白子神社の本殿は、本当に素晴らしい建物だと宮司は思っています。建物の周囲3面に豪華な彫刻が施されています。屋根などを支える木組みも素晴らしいです。

白子町誇りの建造物と言えると思っています。

建設以来260年が経過し、近くで見ると傷みがひどくなってきました。今、修復しなければ後世に悔いを残すことになります。

文化財の修復は、特殊な技術を要します。専門家も必要とします。したがって費用も掛かります。

巨額の資金を集めることができるかどうか宮司としては不安が尽きませんが、何とかご本殿を後世に伝えるため全力を傾けたいと思っています。

例大祭 近づく

令和六年の例大祭は、一〇月十八日（金）から三日間行われます。一日（土）には神事に続いて神輿渡

御が行われます。氏子総代会の中のプロジェクトチームを中心に準備を進めています。

神輿渡御は、神さまが神社を出て氏子さんたちが暮らす地域を巡る年に一度の貴重な機会です。普段神さまご本殿の奥深くにお鎮まりですのでお側近くに行けるまたとない機会なのです。どうぞお神輿の近くで神さまから福を授けてもらってください。楽しみにしてください。

神職資格取得を目指して



田邊淳さん

白子神社で、資格をもっているのは宮司だけです。宮司はかねがね氏子さんの中から神職に資格をとる人が出ないかと願ってきました。希望者が出ました。

古所の田邊淳（たなべあつし）さんです。8月中旬から講習会に参加し、9月中には神職に資格を取得できそうです。

頑張ってほしいものです。

人物登場

横山玲子さん（白子町中里）



横山 玲子さん

白子神社で祭祀舞教室の舞人講師をしています、横山玲子といいます

私は学生時代、天理大学の雅楽部で雅楽の龍笛（横笛）と、右舞を学びました。地元の千葉県に戻ってからは千葉県神社雅楽会にお世話になり、玉前神社や香取神宮の演奏会に龍笛、右舞で舞台に立ったり、雅楽師の東儀秀樹さんのコンサートや学校の芸術鑑賞で舞楽を披露する機会をいただいています。

普段は、県内の神社での祭祀奉仕が主な演奏機会なのですが、千葉県の神社は巫女さんが舞う神楽舞や祭祀舞が盛んで、私も巫女さんの舞を身近に感じ、氏子さんのお子さんの祭祀舞を小学生や中学生の舞や、神社の巫女さんの舞の伴奏をしていました。

そんな中で、女性の神職さんに習う機会をいただき、実際に自分がお稽古してみても、祭祀舞の難しさ、楽しさを学ぶことができました。

また、結婚を機に白子町に住み、白子神社に祭典奉仕した際、宮田宮司から声を掛けていただき、氏子さんのお子さんに祭祀舞を教えてほしいと言われ、地元のお子さんが神社を身近に感じることでできる貴重な機会の一端を担えるのをうれしく思いました。

もちろん、舞を通してだけでなく、初詣、お祭りや縁日、必勝祈願、きっかけは何でも良いんです。自分の町の神様が身近な存在にいることがとても大事だと、神社にご奉仕して感じます。

【宮司】

例祭などで舞っていただく祭祀舞はこれまで専門の方をお招きしていました。何とか白子町の先生と白子町の子どもたちでできないかと考えていました。

中里に専門の方、横山さんがいらっしゃることがわかり、お願いをしました。快く引き受けてくださり大変感謝しております。

横山さん、ありがとうございます。

助っ人 登場

神社の大事な仕事は、掃除です。ほとんど毎日境内や拝殿などの掃除をしています。

最近とても有難いことに掃除の強力な助っ人が現れました。

茂原市在住の吉田佳臣（よしだ かおる）さんです。6月の氏子健康祈願祭の前にお掃除ボランティアの皆さんと拝殿の拭き掃除をしている時、吉田さんが閉まらなくなった引き戸を直してくれました。それがご縁で宮司と親しくなりました。以来有難いことに時々境内の掃除を手伝ってくださるのです。



宮司と吉田佳臣さん

神社面白話 ご神体とご本尊

神社にお祀りされている神さまはご神体の中にいらっしゃいます。さまざまなご神体があります。鏡、刀剣などが多いですが、和歌山的那智大社のように滝がご神体という神社もあり、また奈良の大神神社はご神体が山です。神社の由緒によって様々です。ご神体は、滝や山は別ですが、多くの場合ご本殿の奥深くに安置されていてお詣りの方にお見せすることはまずありません。白子神社にもご神体はありますが、ご本殿は常に扉が閉められていて直接見ることはできません。宮司も遠慮して特別の御用がなければ本殿に入ることはまずありません。

一方仏教のご本尊は、お堂の奥にお祀りされ、常に一般の目にさらされています。手を合わせる時もご本尊のお顔を見つめながら願い事をします。神道と仏教とともに日本人に親しまれている宗教ですが、神体と本尊の扱いは正反対です。日本人の融通無碍なところと言って宜しいでしょう。